

G

グランシップマガジン
[ジー] vol.38

GRANSHIP magazine
SPRING 2008

SPECIAL

300人が奏でる。3,000人が楽しむ。

真夏の音楽祭へ。

スペシャル鼎談 井上 道義×渡壁 輝×田村 孝子

次代を創る顔

宝塚歌劇団 月組男役 明日海 りお

しずおかアーティスト・リレー

陶芸家 ソネ ノリコ

SERIES わが羅針 第38回

福田 進一

小特集

歌穂さん、おしえて。

フレディのこと。

村松友視の文化漫遊 ②④

グランシップ ベンクラブ

小林 旬 (静岡音楽館AOI字芸員)



初主役となった舞台、宝塚パウホール30周年記念公演の月組公演「ホフマン物語～オフエンバックによる」(1/2～13)。初々しくも華のある歌と演技が高く評価された。

宝塚歌劇団 月組男役

明日海 りお

舞台ごとに新しい自分を。
お芝居に味のある男役を目指して。



中三の夏、彼女は初めて宝塚をビデオで見た。

「華やかで躍動的。独特の世界観に惹かれました」
そして、その半年後、宝塚音楽学校の門をくぐる。
厳しい規則と稽古の毎日。「愚痴をこぼす暇が
ないほど無我夢中」で、気づいたら初舞台だった。

舞台から見た劇場の大きさ、ライトの明るさが新
鮮だったという。「やっとここに立てたと思いました」。

あれから五年。今年、彼女は待望の初主役を果す。

「自分の出来が作品の良し悪しに関わるかと思
うと毎回、責任感を重く感じた」というものの、
「いっぱい歌い、お芝居できて楽しかった」とも語る。

多くの人とつくりあげる楽しさも知った。「今後
も舞台ごとにいろんな自分を出していきたい。お芝
居に味のある男役さんになりたいと思います」

あすみ りお

静岡雙葉中学校卒業後、2001年宝塚音楽学校に89期生として入学。
2003年宝塚歌劇団に入団。同年4月『花の宝塚風土記』で初舞台。
その後、『エリザベート』『Bourbon Street Blues』『JAZZYな妖
精たち』『想夫恋』『暁のローマ』『あかねさす紫の花』『パリの空よ
りも高く』『マジシャンの憂鬱』などの舞台に出演。新春の『ホフマン
物語』では初主役を果し、3月からの宝塚大劇場公演『ME AND
MY GIRL』では、役替わりで大役ジャッキーを演じる。月組男役の
ホープとして今後の活躍が期待されている。静岡県静岡市生まれ。

Contents

次代を創る顔③ 2
宝塚歌劇団 月組男役 明日海 りお

しずおかアーティスト・リレー② 3
陶芸家 ソネ ノリコ

SPECIAL 特集 4
300人が奏でる。3,000人が楽しむ。
真夏の音楽祭へ。
スペシャル鼎談 井上 道義×渡壁 輝×田村 孝子

coming soon I 10
『しずおかの文化』講演会
鳥の巣から見た人間世界 講師／鈴木まもる

series わが羅針 第38回 11
福田 進一
「親密なる楽器。」

小特集 16
歌穂さん、おしえて。
フレディのこと。

グランシップベンクラブ 小林 旬 (静岡音楽館AOI学芸員) 19

coming soon II 20
グランシップ こどものくに
～さわろう! つくろう! あそぼう!～

essay 村松友視の文化漫遊② 22
「愛するあなたへの悪口」 画／風鈴丸

HOT NEWS 熊坂 出監督に最優秀新人作品賞!! 23

information a-go-go 24～30
●公演情報
●Just Finished!／「池辺晋一郎」●プレゼント
●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
●TRY GRANSHIP
●SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room

表紙アート●村上 征生 作品タイトル：『ダンス』
操り人形を描くといつも自分の手元の糸の数が気にな
っていた。そして、年を経るとその数なんて気になら
なくなって、今ある糸を大切にと思うようになった。でも、
ふと手元を見ると新しい糸が握られている。そうだね、
糸はいつでもどこでも増やせるね。

(2006年制作)

しずおか 20
アーティスト・リレー

陶芸家
ソネ
ノリコ

彫刻家
次回
渡辺
元弘さん



『クリオネ』 2007年 サイズ／51cm×30cm 素材／陶

流水の妖精「クリオネ」。

愛らしく柔らかなフォルムを彩られた直線で埋め尽くす。

冷たさと暖かさ、優しさと厳しさ。

相反するものが同居することで生まれる美しさ。

しかし、自然の美しさには敵いません。

ソネ ノリコ●1965年静岡県生まれ。Bunker Hill Community College、Graphic Arts&Visual Communication Design卒業。愛知県立窯業高等技術専門校専攻科修了。武蔵野美術大学造形学部通信教育課程芸術文化学科卒業。1996「工房くれ」築窯。'95年より個展・グループ展、'07年ギャラリー空(愛知県・瀬戸)、松屋銀座・スタイルコレクションイベントスペースにて個展。



300人が奏でる! 3,000人が楽しむ!

真夏の音楽祭へ。

それは想像以上。 そして、きつと期待以上。 未曾有の祭典が動きだす!

「大きいことはいいことだ」というチョコレートCMのキャッチフレーズが話題になった時代があった。そのキャッチフレーズを満面の笑顔で発していたのは、当時、『オーケストラがやってきた』という音楽番組でメインを張っていた音楽家だった。その人がこの話を聞いたら何と言うだろうか。

静岡県ゆかりのプロ・アマ演奏者300人による大クラシックコンサート。聴衆も3000人以上。普通、大編成を謳うオーケストラで約70名。ロマン派の楽曲に理想とされる三管編成で

も90名ほど。稀にある巨大編成の楽曲でも最大200名といったところか。つまり想像を超えている。それでもその音楽家はこう言うに違いない。やっぱり「大きいことはいいことだ」と。前述の『オーケストラが』は、クラシックが身近に親しめる音楽番組と

して好評を得ていたが、当時、それを凌ぐ人気ともいえる番組があった。それがNHK総合テレビの『音楽の広場』だ。この番組がきっかけであの名曲を知った、クラシックが好きになったという人も少なくないだろう。残念ながら20年以上も前に終了してしまった番組だが、あのワクワクするような音楽体験をもう一度——そんな気持ちと敬意を込めて、番組名を借りて船出を迎える。それがこの夏、グランシップで開かれる世紀の大音楽祭『グランシップ音楽の広場』である。

この「想像を超える」イベントに参画いただくのは、当の『音楽の広場』で演出を務めていた渡壁輝氏。そして、クラシック界の鬼才にして日本を代表する指揮者、井上道義氏。両氏は早速会場となる大ホール・海を視察。そこでさらなる「想像を超える」プラン、アイデアを加え、現在、準備を進めているところ。

参画者、演奏者、聴衆。いずれにとっても期待いっぱい。そして、期待以上の祭典はもう間もなく!だ。

渡壁 今回の企画は、とにかく
スケールが違うね。

田村 実は私がグランシップの
館長をお引き受けした一番の理
由は、4600人収容のホール(大
ホール・海)を使って誰もが楽し
める音楽会ができたらいいな、と
いう思いからなんです。NHK時
代、ロンドンのプロムス^{*1}のよう
なものができないかとずっと思っ
ていたのですが、結局できなかった。
渡壁さんと井上さんが関わって
いらした『音楽の広場』^{*2}のよう
な番組もなくなってしまうし
たし。

井上 そうなんだよね。

田村 『音楽の広場』の後、井上
さんにはご協力いただいて、いく
つかトライ版を作りましたが、な
かなか思うようなカタチには至
らなかった。でも、あの大ホール
を見たとき、何かほかではできな
いものができるんじゃないかなと。
だったら、日本では渡壁さんに
やっていただくのが一番だと思
いましたし、渡壁さんをお願いを
すれば、たぶん井上さんにお声をか
けていただけるだろうと思った
のです。

渡壁 『音楽の広場』で黒柳徹
子さんと一緒に司会を務めてら
した芥川也寸志さんがよくおし
やっていたのは、“ポピュラーミ
ュージックというのは音楽のほうから
コンニチハとやってきてくれる。

グランシップ 音楽の広場
スペシャル鼎談

『音楽の広場』指揮

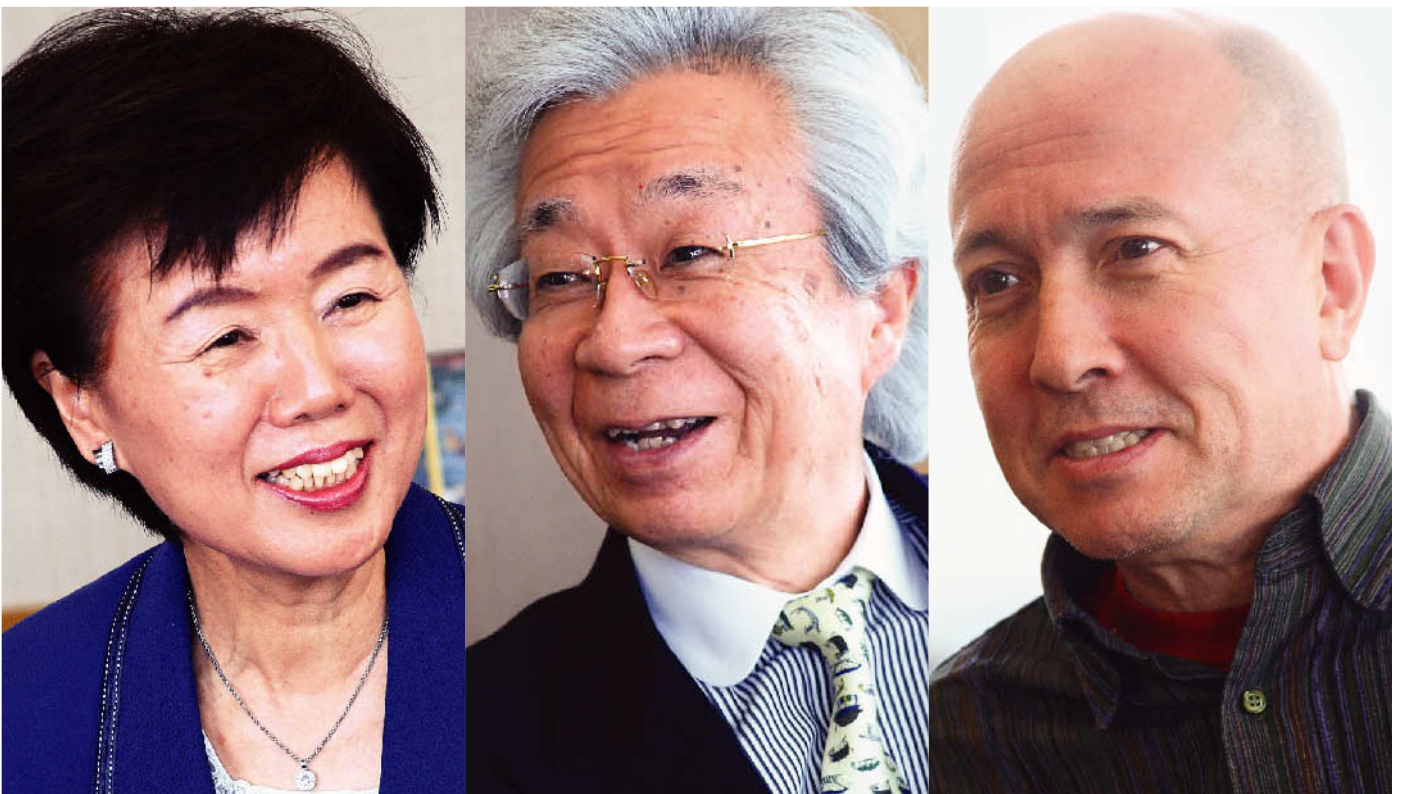
井上道義

『音楽の広場』音楽監督・演出

渡壁輝

グランシップ館長

田村孝子



大ホールを見たとき、 何かほかではできないものが できるんじゃないかと思ったんです。(田村)

でも、クラシック音楽はコンニチハ

とはやってこない。だからクラシック音楽をベースにして、こちらからコンニチハといえる番組にしようよ。と。今回はそういう話のもとになっているから、これはもう大賛成。一も二もなくやってみたいと思ったわけです。

井上 ただ、『音楽の広場』の頃と今とは違いますよね。昔はCDではなく、レコードでした。サントリーホールはおろか、今は

全国津々浦々にあるグランシップのようなホールも少なかったと思います。インターネットがあり、何でも楽に手に入るようになった今、テレビという媒体を介さなくても、本気で望めばそこにクラシックはある。それに僕はね、クラシックを含め、芸術やアートというものは、必ずしもあちら側からやってくるものではなくて、憧れをもって向かっていくものだと思います。すべて向こうから親切にやってきてほしいと思うのは子どもの発想だね。それでもやっぱり演奏するだけじゃなくて、語りかけなきゃいけないと思ってるわけで、だから二人の考えていることがよ

くわかるんですが。

渡壁 今回は、井上さんをどうしても口説かなければというのがあったからね。恩を着せるわけじゃないけど、この人のスケジュールに合わせてホールを抑えたくない。(笑)それほどこのマエストロがなくては進まないものなんですよ。何たってアマチュアの演奏家を300人以上集めようというんだから。そして、とにかく現場を見たいと思った。

井上 グランシップは僕も見ました。なかなか面白い空間で、確かにこれなら田村さんがおっしゃるように大きな祝祭的な場所になりうるだろうと。そこで僕は

とんでもない曲を挙げただけで。

渡壁 何をやりたいかと訊いたら、クセナキスの『ノモス・ガンマ』^{*3}と言ったんだよね。僕もそれはぜひやりたいと思った。あの曲こそあのホールでなければできないことのひとつだと感じたね。世界的にも珍しいんじゃないですか。お客さんを演奏家の間に入れて演奏するというのは。

田村 コンサート用ではないあの空間をそこまで面白がってくださる音楽家の方は少ないと思いますけれど。

井上 それは鮎を食べるときにフォークが出てきたら、鮎を変えるか、フォークを変えるか。あるいは

は手で食べるか。そういうことでしよう。あのホールに合った、あのホールを生かす音楽を考えればいいだけなんです。

品そのものではなくて演奏の仕方なんです。普通と逆でしょう。そういう考え方にお金をつぎ込むことを許す市民・県民がいることに興味を持って金沢に行っているんですよ。同じように今回、あのホールが生きた音楽であるという意味は大きい。ただし、いい

クセナキスの『ノモス・ガンマ』。 あの曲こそあのホールでなければ できないことのひとつだと感じたね。(渡壁)

井上 実はそこがものすごく大事なところなんだよね。話がちょっとややこしくなるけど、僕が音楽監督としてアンサンブル金沢に行っているのは、あそこに21世紀美術館があるような環境だからなんです。そこに展示されているのはモナリザでもピカソでもなく、身近な現代作家の作品で、子どもにも楽しませることができて、大人も疲れず元気になって帰ってこれる美術館なんです。ね。いつてみれば、展示の仕方、プログラム、全体のレイアウトで持たせている美術館。音楽でいうと、作

演奏をするためには、練習には時間をかけて、日本語で言うところの「シコシコ」やらなきやいけ。僕は魔術師じゃないんでね。アマチュアをポイポイと集めてハイツとわけにはいかないんです。(笑)

田村 アマチュアの大オーケストラといえば、今ベネズエラの何百人という子どもたちによるオーケストラ^{*4}が話題になっていますね。8歳の子どもがコンサートマスターで、30数年間で延べ29万人がオーケストラ活動をして、全国300カ所以上に拠点があるという。子どもたちが音楽をやり、いいものを追求しながら、協調するということを学んでいく場になっていると。

井上 本当の意味で、子どもが武器を持つ代わりにクラリネット

なかなかな面白い空間で、確かにこれなら祝祭的な場所になりうるだろうと。それで僕はとんでもない曲を挙げただけで。(井上)



井上 道義 Michiyoshi Inoue
『音楽の広場』指揮
指揮者。1971年グッド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝後、国際的に活躍。ニュージーランド国立交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団の音楽監督を歴任。現在、新日本フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督および石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザー。90年大阪ザ・シンフォニーホールの国際音楽賞・クリスタル賞、第9回中島健蔵音楽賞ほか、98年フランス政府より芸術文芸勲章(シュヴェアリエ賞)を受章。

^{*1} 音楽の広場/1977～1984年にNHK総合テレビにて放送。クラシック音楽の裾野を広げた伝説的番組の一つ。

^{*2} プロムス/イギリスの指揮者ヘンリー・ウッド(1869～1944)が労働者階級を対象に始めた「ヘンリー・ウッド・プロムナード・コンサート」の略称。チケット購入以外、旗やクラッカーの持ち込みも自由。肩の凝らないクラシックコンサートとして知られている。

^{*3} ノモス・ガンマ/建築と数学を学んだ現代作曲家クセナキスが数学の理論を用い、コンピュータの確率論的手法によって生み出した斬新な作品の一つで、会場内に奏者がランダムに配置される管弦楽曲。

^{*4} ベネズエラのオーケストラ/25万人の子どもが参加している国家プロジェクト「ベネズエラ青少年・自動オーケストラ全国制度財団(FESQJIV)」は、「音楽は社会を変える力となる」という信念のもと、多くの子どもたちを犯罪から守る活動を展開。

練習には時間をかけてシコシコやらなきゃ。
僕は魔術師じゃないからね。(井上)

トを持っている。チャベス大統領はいろいろ言われているけど、あれは本当に素晴らしい仕事だね。
田村 そもそも井上さんは、どうして忙しいスケジュールをやりくりしてまで、今回の話をお引き受けくださったのですか。

井上 やっぱ渡壁さんが面白がつてやろうとしていたからね。アマチュアとやるのはすごく大変だけど、普通じゃない、コンサートホールじゃないところでやれるということに興味があったし、他の人に頼んでもうまくいかないだろうと思ったから。ただ、グランシップって、ちよつと街の中央から外れた場所にあるんだな。音楽を演奏したり、絵を描くように街を描いてほしいと思うんだけど。
田村 考えたら静岡は、一時間

あれば東京にも名古屋にも行けるんです。でも、自分一人で行動できない子どもやお年寄り、障害者の方にとっては、音楽というものに数多く触れられる場所であるとはいえない。これは何とかしなくてはと感じたということも今回の発端になっているんです。

井上 だとすると、今回これだけのアマチュアの人たちがプロフェッショナルと一堂に会すということは、ひよつとしたら、大事にしなければいけないのは今度のコンサートじゃなくて、その人たちのつながりかもしれないね。それは今でも渡壁さんが僕に電話をするように、あるいは田村さんが渡壁さんに連絡をとるみたいなもので、そういう関係があれば、必ず何か変わっていくから。

日本一の富士山を目印に
ゆくゆくは全国から来てほしいよね。(渡壁)



渡壁 輝 Akira Watakabe
『音楽の広場』音楽監督・演出
1960年東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。61年NHK入局後、「夢で違いましょ」『音楽の広場』など音楽番組やバラエティショーの制作・演出に携る。87年に同局を退社。サントリーホールのエグゼクティブ・プロデューサー兼副支配人を経て、支配人、総支配人に就任。98年横浜市文化振興財団常務理事、横浜みなとみらいホール館長、2003年同ホール名誉館長に就任。現在、豊田市コンサートホール能楽堂企画運営委員長・アーティストック・ディレクター、桐生市市民文化事業団アドバイザー。

渡壁 それはあるね。何事も人がつくるものだから。サントリーホールにいたとき、当時の館長の佐治敬三さんがいつも「ホールは人やで」とおっしゃってたけど、本当にそう。

田村 練習も含め、人と人が集まって一つのことに向かう、そのエネルギーに期待したいんです。



渡壁 ベネズエラのジュニアオーケストラと同じだね。

井上 それから将来的には、これは静岡県だけでやっていくべきものではないだろうなということとは感じます。たとえば今年『フ・フォル・ジュルネ』を北陸三県が共同してやることになっているんです。あの三県は僕から見るとそんなに仲がいいとは思えないけど、

人と人が集まって一つのことに向かう、
そのエネルギーに期待したいんです。(田村)



田村 孝子 Takako Tamura
慶応義塾大学文学部卒業後、NHK入局。芸能局演劇番組部に配属後、音楽ディレクターとして「あなたのメロディ」「N響アワー」「ときめき夢サウンド」などの番組を手がける。2007年グランシップ館長・静岡県文化財団副理事長に就任。現在、「文化庁・文化審議会」委員のほか、世界緑茶協会評議員、静岡県立美術館協会会長などを務める。

ど、これを機に関係が変わるかもしれない。そう考えると、お隣の県から無理してでも演奏家を呼ぶくらいでなくてはと思います。

渡壁 日本一の富士山を目印に、ゆくゆくは全国から来てほしいよね。

井上 空港も新しくできるんでしょう？

田村 そうです。それで今回はソリストを中国からお呼びする予定なのですが、確かに静岡県の中でも西部、中部、東部と分かれていて、それほど交流が活発であるともいえません。だから、ここで静岡県の人が一つになれたらと思うんです。そして、井上さんがおっしゃるように、他県からお越しただけるようなものにしたいですね。そういう意味では、東京から一時間、名古屋から一時間というのは地の利であり、ここで面白いものをやれば、

絶対来ていただけたと思うのですが……。

井上 祭りというのは、ふだんは仲が悪い人が遊べる唯一の時間と考えてもいいんじゃないかな。祭りだから毎日やる必要はない。でも、祭りなんだからカタイこと言わずに参加してよと。

渡壁 一度やってみれば、音楽を楽しんでいる人たちは、ああいうお祭りなら自分たちも参加したいと思ってくれるに違いない。だからこそ成功させたい、させなくてはと思うね。

田村 プロムスは100年以上続いて、戦争中もやめずに、なおかつ今も進化している。やっぱそれだけの努力を関係者も、音楽家もしていると思うんですよ。今回だけでなく、引き続きお二人のお力をお借りすることになると思いますので、どうぞ末永くよろしくお願いします。

グランシップ音楽の広場

8/10 SUN

5/3(祝)
チケット
発売

14:00開場 15:00開演 グランシップ 大ホール・海

全席指定 アリーナ席 3,000円 SS席 3,000円 S席 2,500円 A席 2,000円 B席 1,500円
(高校生以下 各1,000円引き) ※4歳未満入場不可



指揮/井上 道義
© Benjamin Lee



指揮/本名 徹次
Photo © Ryusei Kojima



ソプラノ/崔岩光(サイ・イェングアン)



バス/鍾皓(ジョン・ハオ)

プログラム

「神聖な交響曲」第1楽章から 冒頭のファンファーレ	パヌフニク
「ノモス・ガンマ」	クセナキス
「ボレロ」	ラヴェル
「弦楽のためのセレナード」から	チャイコフスキー
組曲「水上の音楽」から	ヘンデル
「愛する小鳥よ」	作詞：曹 勇 作曲：施 光南
「浜辺の歌」	作詞：林古溪 作曲：成田為三
歌劇「魔笛」から	
夜の女王のアリア ～地獄の復讐は我が胸に燃え	モーツァルト
ザラストロのアリア ～この神聖な殿堂には	
組曲「惑星」から「火星」、「木星」	ホルスト

ほか

(曲目は変更となる場合があります。)

演奏/静岡交響楽団の団員

静岡県アマチュアオーケストラ連盟加盟団体の団員、その他一般公募による静岡県ゆかりの音楽家

「しずおかの文化」講演会 Vol.1

鳥の巣から見た人間世界

6/14 Sat

13:30開場 14:00開演 グランシップ2階 映像ホール

全席自由 500円 定員／90名 *先着順・定員になり次第、締切

要事前
申込

申込方法／住所、氏名、年齢、連絡先、及び文化講演会参加希望と書いて、FAX、電話またはメールで申込みを。

申 込 先／〒420-0035 静岡市葵区七間町8-20 毎日江崎ビル7F

(株)ピーエーシー内「しずおかの文化」編集部内 文化講演会係 TEL:054-254-8854 FAX:054-251-1483

e-mail:bunka@pacweb.co.jp

※参加料は当日会場にて受付いたします。



鳥の巣のふしぎを知ることとは、
いのちと地球のふしぎを知ること。

講師／鈴木まもる(絵本作家、鳥の巣研究家)

東京芸術大学中退。主に児童図書の絵を描くが、山で鳥の巣を見つけ、鳥の巣の研究家に。1998年、東京初の「鳥の巣展覧会」を開き、約180個の鳥の巣を展示。以後、四国、高山、大阪、神戸で展示会を開催。主な絵本に『まえむきよこむぎうしろむき』『ヘルシー家のおひさま日記』(金の星社)、『雪わたり』(講談社)、童話の挿絵に『黒ねこサンゴロウ』シリーズ(偕成社)、育児書に『父さんの子育て絵日記』(婦人之友社)、山の暮らしのエッセー集『鳥の巣展覧会』(河出書房新社)など。現在、伊豆婆娑羅山に在住し、約300個の巣を収集。1952年東京生まれ。

コーディネーター／八木洋行

静岡県文化財団では、グランシップの運営のほか、ふるさと静岡の地域探求誌「しずおかの文化」を年4回刊行。今年度は本誌のテーマに合わせて、グランシップにて講演会を開催することとなった。来たる6月には、「鳥の巣から見た人間世界」と題し、絵本作家であり、鳥の巣研究家である鈴木まもる氏を講師に迎えて、その第1回を行なう。氏の同名著書では、ヤシの葉をカゴのように編んだ巣やクモの糸を接着剤がわりにした巣など、地球上のふしぎな巣がひもとかれていくが、その視点は鳥の巣の向こうにいのちと地球のふしぎを見つめる鈴木氏ならではのもの。現在、伊豆に住むという氏の話、ぜひお楽しみに。

ただ今、刊行中!「しずおかの文化」92号!



知を刺激する地域探求誌

『しずおかの文化』

今回は「高草山山辺の道」を大特集。

B5判76ページ／季刊誌／700円(税込)

バックナンバー、定期購読のお問合せは講演会申込あて先に同じ。

予告 第93号 5/15発行 テーマ「井の国」
第94号 8/15発行 テーマ「人形」

「しずおかの文化」講演会

今後の予定

Vol.2 9月/Vol.3 12月/Vol.4 2009年3月

福田

進一

親密なる楽器。

「ギタリストは楽器を抱え込んで

音の出るところを体に密着させて演奏する。

実にインティメイトで、プライベートな楽器です。

裏を返せば、自分の音を客観的に聴くことはできない。

舞台からアピールすることがヘタクソな楽器なんです。」

その音色にシンパシー。

今日ヨーロッパのある国で芳醇な音色を聴かせていたかと思えば、翌日はアジアの音楽大学で指導者としての顔を見せている。また、幾つものプロジェクトに参画しながら、未踏の地を拓いていくことも忘れない——「常に眼の前に人參があるから、モチベーションが保たれる」と氏は笑う。四半世紀の間に五十枚のアルバムを発表。目標は生涯一〇〇枚。いったい幾つ、そして、どれほど大きな人參が氏の眼の前にあるのだろうか。

——エレキギター全盛の少年時代にあつて、クラシックギターとはどのような出会いが

あったのでしょうか。

「僕がギターを始めたのは一九六六年頃。ビートルズが初来日をして、グループサウズが流行っていて、フォークもそろそろ流行り出すという、確かにそういう時代でした。当時、僕は親の見栄もあって(笑)、ピアノ教室に通っていたんですけど、それがどうもお稽古ごとくという感じでね。おまけに男の子は一人だけ。まわりには年下の女の子がいたりして面白くないわけです。そんなある日、ギターを習いたいと言ったら、父親がウクレレを買ってきた。しばらくはそれを弾いていたけれども、あれは四本弦ですから半年ほどで飽きちゃって、結局、ピアノ教室の二階にあったギター教室に、簡単にいうと引越したんです。そこにいらした斎藤(達也)先生には以来ずっと師事するわけですが、フォークギターにしろ、エレキギターにしろ、まずはクラシックギターをやっておくのがいいという先生の方針で、とにかくクラシックの弾き方を勉強することになったんです。」

—— 当時、ギターのどんなところに惹かれたのでしょうか。

「音色でしょうか。ピアノのように大きな音は出ませんけれども、シンパシーは感じましたね。すぐにのめり込んで——とはいっても、そんなに勤勉な生徒ではなかったです。ギターにもピアノのバイエルのようにカルカッシという教則本があるんですが、これがなかなか進まない。半年で数ページがやっと。それが中学二、三年の頃、何かのきっかけで突然、他の人のレベルを飛び越えたものが弾けるようになったんですけれども。」

—— では、ギターでいこうということは、早くから決めていらしたのですか。

「十四歳のとき、日本人で初めてパリの国際ギターコンクールで優勝された渡辺範彦さんの凱旋公演に行つたんです。渡辺さんが二十二歳ぐらい、大阪厚生年金会館での演奏会でした。それを聞いて、こういう人になりたい、パリに行きたいと。高校三年から大学一年の間に国内コンクールで上位入賞するようになってからは、親も納得したようです。ただ音楽大学に、とは思わなかった。当時、日本では初めてのギター講師として渡辺範彦さんが上野学園大学で教えてらっしゃったんですけど、女子大でしたから。(笑)じゃあ、外国に行くかしようがないなと。」

—— そして、十一年後、ご自身がパリで優勝されるわけですね。

「そうなんです。当時、パリにギター音楽の頂点がありまして、世界中の名手がパリに集まっていたんですね。ちょうど世界の名ピアニストがショパンコンクールでポーランドに、チャイコフスキーコンクールでロシアに集まるような感じで。」

は快適で、やるのがすべてうまくいって、卒業まであつという間でした。それは斎藤先生の教育がすごくよかったからだと思えます。音楽的なことを先に教えてくださつたので、弾くことが後からついて来るといって感じでした。むしろ優勝した後のほうが大変で、燃え尽き症候群というか、どう生きていくか、どんな風に演奏活動をしていくべきか、迷っている時代が二、三年ありました。」



ドイツ(旧東ドイツ)のワイス・ガーバー工場のギター。1926年製。「昔の楽器は機能がない分、着流しのかっこよさみたいなものがある。表されるものが今とはまったく違って、そこが楽しいですね」

時代の楽器を使うということ。

—— 最近、『アーリーワークス』として、初期の演奏を集めたアルバムをリリースされていますが、当時の演奏をどのようにお感じになりますか。

「音も写真のスナップとほとんど同じですよ。やっぱり若い頃はよかつたと思います。みんなは慰めに、年がたってよくなつた」と

言いますが(笑)、若い頃の音を聞くと、失つたものがたくさんあるなと。もちろん今の自分に満足してはいまずよ。酒の熟成のように急ぎすぎてもいけないし、途中で止まつてしまつてもいけない。獲れたての果実のシュワツというのでもいいし、放つておいたみかんもうまいなと。(笑)」

—— 華麗なギター遍歴をお持ちで、これまでに手にしたギターは二十本以上とか。

「逆にいうと、あまりこだわってないからでしょうね。どんな楽器を使つても僕の音が出ると思つていますから。楽器を替えても、衣裳が変わつただけで中身は変わらない。どんなにいい楽器でも、音楽がダメだったらダメですから。楽器に助けられることは一切ありません。いい楽器とは恐ろしいもので、ヘタクソな人が使うとヘタなりの音が出る。それよりもそのときの自分に合った楽器を使う、というのが僕のポリシーですね。そして、もう一つ、時代によって変えるということ。音楽というのにはある種のお芝居で、台本があつて、いろんな時代の背景がある。だからお芝居によつて衣裳が代わるように、僕は楽器を変えてるわけです。大抵のクラシック音楽は江戸時代に書かれています、侍の時代に書かれた音楽に背広の楽器はおかしい。つまりその時代の楽器を使う、というのが僕の発想です。」

—— その時代楽器の一つとして、ヴァイオリンで有名なガダニーニのギターをお持ちだそうですが、名器といわれるものはヴァイオリン同様、やはり自分の音になるまでに時間がかかるのでしょうか。

年齢とともに演奏する曲を意図的に変えているという。「若い頃にしかできない音楽というのがあって、それらはちょうど今、弟子の村治佳織や大萩康司といった若い人たちがやるようになっていく。僕としては彼らが弾けないものをやりたいと思うんです」

【ふくだしんいち】

ギタリスト。パリ・エコール・ノルマル音楽院でアルベルト・ボンセに師事し、首席で卒業。イタリア・キジアーナ音楽院ではオスカー・ギリアに学び、最優秀ディプロマを取得。'81年パリ国際ギターコンクール優勝。以後、内外の賞歴を重ねるとともに、国際的な演奏活動を展開。近年では、2004年、武満徹のギター協奏曲をアテネ市交響楽団と共演したのを皮切りに、中南米、北欧、西欧、アジアの世界12カ国で演奏。また、教育活動にも力を注ぎ、その門下から鈴木大介、村治佳織、大萩康司らを輩出。現在はミュンスター音楽院(ドイツ)、モーリス・ラヴェル音楽院(パリ)、ノースウェスタン音楽院(USA)、上海音楽院(中国)など、世界各地の音楽院のギター科に客員教授として招かれ、マスタークラスを受け持っている。すでに約50枚のCDをリリース。2002年のCD「セビリア風幻想曲」で第58回文化庁芸術祭賞レコード部門優秀賞を受賞。また、'07年に平成19年度外務大臣表彰を受けた。1955年大阪生まれ。



「ものすごく時間がかかります。すぐには仲良くなれないですね。ただ、よくヴァイオリンと比べられますが、ヴァイオリンは一五〇〇年代の終わりから今日まで絶えず考え抜かれてきて、一本の形が大きく変わらずに変化している楽器なんです。ところがギターの原型はヴァイオリンよりも前に生まれていたのにも関わらず、時代の求める音が変わったり、職人が絶えたりしたこともあって、その都度変わっているだけで未だ一つの形にはたどり着いていない。これから進化していく楽器だと僕は思っています。」

——演奏者にとってギターならではの魅力とは何でしょうか。

「ギタリストは楽器を抱え込んで演奏しますよね。音の出るところを体に密着させて、振動もすべて受けとめて演奏している。ここがほかの楽器と違うところです。だから、ギターという楽器は、四畳半位の部屋で一人、楽器と向かい合ってポロポロと弾いているのが一番気持ちいいんですよ。実にインティメイトであり、プライベートな楽器で、演奏者と楽器が直に対話できる。これがギターの素晴らしいところです。しかし、裏を返せば、自分の音を客観的に聴くことはできない。舞台からお客さんにアピールすることがヘタクソな楽器であるともいえます。そこがギタリストにとって一番の課題であり、大事な部分なんですけれど。」

——今年度は、グランシップのアウトリーチ事業の一貫として、高校のクラシックギター

部をご指導いただけるのですが、現在、海外の大学でもマスタークラスを持たれているご自身の眼から、日本のギターレベルをどのようにご覧になっていますか。

「アジアの中で日本はアベレージは高いと思いますが、たとえば中国はスキルと集中力がありますね。一方、韓国の子はスキルでは日本や中国に及びませんが、とにかく質問が多い。これも大事なことです。また、日本やアメリカの子は指導者に逆らったりしませんが、フランスでは信じられないほど逆らいます。私はこう弾きたいという。僕としては、何をぬかしておるんじやと。(笑)だからといって全く言うことをきかないわけではなくて、ロジックできちんとねじ伏せればいいんですけれどね。」

——そして、五月にはヴァイオリンの森下幸路さんとのコンサートが楽しみです。
「森下さんは一本ピツと筋の通った人で、音楽の方向がハッキリしているのでとてもやりやすいですよ。ぜひ、楽しい演奏会にしたいと思います。とにかく日本のお客さんは知っている曲が好きで、『運命』とか、『田園』とか、定食があると安心する。でも、ヴァイオリンと違って、ギター曲ってあまり知らないでしょう。定食でいえば、『アルハンブラの思い出』と『禁じられた遊び』『アラソリス協奏曲』『アストリアス』ぐらい。これを外したらダメだといわれますが、僕としてはこれをなんとか打ち破りたい。初めて聴く曲ばかりだけど、素敵なメロディに出会ったと、そんな風に言われたら嬉しいですね。」



5/31(土)

チケット発売中

グランシップサロンコンサートvol.1

福田進一 & 森下幸路

PM1:30開場 PM2:00開演

グランシップ 6階交流ホール

全席指定／一般 4,000円 学生 2,000円

【曲目】

M.M.ボンセ: エストレリータ、

A.ピアソラ: 「タンゴの歴史」より「カフェ1930」「ナイトクラブ1960」ほか

歌穂さん、おしえて。
フレディのこと。

世界中で読まれている絵本『The Fall of Freddie the Leaf』。

この物語を原作としたミュージカル『Freddie〜少年フレディの物語』がこの夏、グランシップにやってくる。

そこで少年フレディ役を演じる島田歌穂さんにまず、4つの質問から。

フレディって、どんな子？

1

「もしかしたら今ではなくなっ
てしまったかもしれないけれど、
彼は自由奔放でイタズラ好きな
いわゆる、ガキ大将。でも、そんな
フレディが病気を通して、命と向
き合っていくとき、そこに彼の素
直さ、純粹さ、まっすぐな心が少
しずつ表れていくんですね」



好きなシーン

2

「すべてに思い入れがありますが、
やはりフレディが死と直面して
苦しんでいるとき、ダニエルが「変
わらないものなんて一つ
もないんだよ、怖がるこ
となんてないんだ」と勇気を与
えてくれるシーン。そして、テ
ィマソングへの「のちのうた」を歌うの
ですが、そこにすべてが込められ
ていると思います」

3

原作との出会い

「ミュージカル化のお話をいただいた
ときに読んだのが最初
です。なんてシンプルで、決
して押しつけることなく、
いろんなことを心の奥底に
問いかけてくれる物語なのだろう
と思いました。清々しい読後感が
強く印象に残っています。当初、
私は葉っぱ役なのだろうか？と
ちょっと不安でしたが（笑）」

4

フレディの音楽

「普通ミュージカルをつく
るとき、どうしてもバリ
エーションを考えると、いろいろな
楽器を使いたくなるんですけど、
究極にシンプルな編成で幅広い音
楽を、というこだわりから、ピアノ
と弦楽四重奏。しかも生演奏。
考えたらとても贅沢ですよ」

島田 歌穂

KAHO SHIMADA

原作を読んだ後の清々しさ。
そして、心に深く残る何か——。
ミュージカルとして
大事にしたかったこと。



日本では、絵本のみならず、舞台や朗読でもおなじみの『葉っぱのフレディ』。そのミュージカル作品といえば、やはり島田歌穂さん主演の『Freddie』少年フレディの物語」だろう。原作で登場する葉っぱたちを人間に置き換えて、「いのち」の営みを見つめていく本作は、2000年の初演以来、すでに上演140回を超えている。

「私自身、プロットの段階から参加しているので、一つ一つ作っていったという感じです。主人公を葉っぱから人間に置きかえたので、人間が死と向き合うことによって、シリアスになりがちなところをどうするかが一番難しかったところですね」

また、ある意味、難役ともいえる10歳の少年役については、稽古が始まる前にかなり少年ウォッチングして臨んだという。

「どんなことに興味があつて、どんな立ち振るまいをするのか……。初演当時はゲームボーイが流行っていて、ソフトもポケモンからドラクエ、ハム太郎。いろいろ取り入れてきました。そして、今はDS。劇中の小道具も変化しているんです」

出演者はたった7人。音楽もピアノと弦楽カルテットというシンプルさ。ちなみに音楽を担当したのは、ご主人である島健さん。

「これは彼にとつて初めて作曲を手がけたミュージカルだったんですね。彼も私もこの作品は音楽の力で絶対に爽やかなもの

にできるはずだと信じていましたし、山川啓介先生が素敵な詞を書いてくださったこともあつて、本当に目指していた通りの作品ができました。不安の中で幕を開けた初日、お客さまの拍手に包まれ、ああ、大切なものをつくることができた実感した、あの感動は忘れられません」

だからこそ今、ライフワークとして取り組んでいると語る。そんな彼女が最も大事にしたかったのは、最初の読後感だという。

「絵本を読んだ時の清々しさ。同時に心に深く残る何か——そこをミュージカルとして目指したかったんです。決して大掛かりではなく、少人数で、究極にシンプルで。ましてフレディが死んでゆくからといって、決してお涙ちょうだいはしたくなかった。そこになんとか到達できたのではないかと思います。今年、静岡の公演はちょうど夏休みですから、たくさん子どもたちに見てもらえたらうれしい。私も10歳の少年に見えるうちはがんばります！」

出演者は7人。

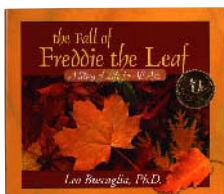
音楽はピアノと弦楽四重奏。

シンプルな構成にこだわったんです。



KAHO SHIMADA 1963年、東京都出身。10歳で子役デビュー。87年に「レ・ミゼラブル」のエボニーヌ役に抜擢され、その後はミュージカル、ストレートプレイ、コンサートなど幅広く活躍。出演作に「ウエストサイド・ストーリー」、
「Freddie」「蝶々さん」「The Light in the Piazza」「ベガーズ・オペラ」など。1988年芸術選奨文部大臣新人賞、1997年菊田一夫演劇賞、2006年松尾芸能賞優秀賞、06年に「飢餓海峡」で第41回伊国屋演劇賞個人賞受賞。さらに「ベガーズ・オペラ」で第14回読売演劇大賞優秀賞受賞。現在、大阪芸術大学教授。

取材協力／ホテル阪急インターナショナル



●『葉っぱのフレディ』(The Fall of Freddie The Leaf)の著者は、アメリカの教育学者、レオ・バスカーリア博士(1924～1998)。彼は多くの著書を残したが、生涯唯一の絵本が本作だった。冒頭には彼自身のメッセージとして以下のような一文がある。「この絵本を死別の悲しみに直面した子どもたちと 死についての確な説明ができない大人たち 死と無縁のように青春を謳歌している若者たちそして編集者バーバラ・スラックへ 贈ります。(以下略)」



●『葉っぱのフレディ ～いのちの旅～』
みらいのな／訳 童話屋／刊
日本では「いのちの旅」という副題が添えられ、1998年に発刊。またたく間に100万部のベストセラーを記録した。

グランシップは2002年から静岡交響楽団(静響)のシリーズを展開し、このオーケストラの発展を支えている。静響は多彩な共演者を迎えて経験を重ね、また、多くの新しい聴衆を得ることができただろう。しかしグランシップが静響と共同するのは、そのオーケストラだけのためではない。オーケストラとは、クラシック音楽を振興するための大切な土壌として公共的な存在である。

この6年、グランシップと静響の提携はたんにコンサートを開催するだけでなく、多くの子どもたちが参加する「ヤングオーケストラ塾」やオーケストラの音楽を解説する講座、アウトリーチ(地域や学校への普及活動)など拡がりをみせている。まだまだ発展できる余地はあるし、こうした展開が醸成されるには、だいたいの時間を要する。長期的な継続に期待するとともに、オーケストラ

グランシップとオーケストラ

小林 旬

(グランシップペンクラブ会員・静岡音楽館AOI学芸員)



GRANSHIP Pen Club

がそれに対してより感動的な演奏で応えることも期待している。今年、グランシップはオーケストラの事業において、さらなる展開にも着手した。まずはこの春4月15日、ケント・ナガノが指揮するモントリオール交響楽団がやってくる。静岡で海外のオーケストラを聴く機会は貴重だ。優れた演奏に触れれば、私たちの耳は磨かれる。夏、8月10日には井上道義、本名徹次、日本を

代表する指揮者のもと、県内のオーケストラを結集、超巨大編成で演奏する「グランシップ音楽の広場」が準備されている。ラヴェルの《ボレロ》、ホルストの《惑星》という名曲のほか、前衛を牽引した作曲家クセナキスの作品にも挑むという。

開館10周年を前に、グランシップはますます多様に事業を展開してゆくだろう。そのなか、ここでどんなオーケストラの響き

を聴くことができるのか、「文化」という果てしない海原に、グランシップはまだ出航したばかりなのかもしれない。

ついでながら、5月23日の東京交響楽団(静岡市民文化会館)と翌24日の静響(グランシップ)

は、《悲愴》交響曲をはじめチャイコフスキーの名曲をたっぷり堪能できる2日間。まずはオーケストラのコンサートににかけてみよう。

ミュージカル Freddie ～少年フレディの物語～



7/27(日)

開場 14:30 開演 15:00

グランシップ 中ホール・大地

全席指定 大人 4,000円 中学生以下 2,500円

親子ペア 5,000円

◆STORY

10歳の少年フレディ。彼は雑木林の中の病院に入院することになる。そんな彼に隣の病室のダニエルは、窓から見えるカエデの木が季節とともに移ろう様子を語って聞かせる。フレディは葉っぱの一つに自分の名をつけ、春に生まれて冬に死んでいく葉っぱの一生と自分の短い人生を重ねていくのである…。

◆CAST

フレディ: 島田 歌穂 アルフレッド: 杉江 真
ダニエル: 堀米 聡 クレア: 谷 えりか
パパ: 大須賀ひでき ナー ス: 珠希 亜矢
ママ: 大輝 ゆう

◆STAFF

原作: レオ・バスカーリア
音楽: 島 健
台本・演出: 忠の 仁
美術: 高田 一郎

グランシップ

こどもものくに

～さわろう! つくろう! あそぼう!～

入場
無料

5/3(土)～6(火・休) 10:00～16:00

2008年のテーマは「紙」。
さて、どんなヒミツキチができる?

と思う。ゴールデンウィークにテーマパークで遊ぶのもいいが、与えられすぎない環境で自由に遊ぶ楽しさを知るのもいい。むしろ子どもはそうした場所で遊ぶ天才なのかもしれない。

交流ホールでは、3月の事前オーディションに合格したパフォーマーたちが楽しいステージを披露。こちらもお見逃しなく。

「昨年は「えほん」、昨年は「おと」をテーマにして、それぞれ1万人以上をはるかに超える来場者を集めたヘランシップ こどものくに」。今年のテーマは、何千年も前から人間の暮らしと深い関わりをもつ「紙」。

一口に紙といえども、大雑把にわけても50種類、細かく分類すれば数千種類にも上るそう。どうやら人間には紙について用途や感性による格別なこだわりがあるらしい。

そして、それは同時に私たち、とりわけ子どもにとって創造力を刺激し、自在に変化し、なおかつ最も安全な素材の一つでもある。曲げたり、折ったり、切ったり、貼ったり、丸めたり、描いたり。どんなこともできる。どんなものにもなる。そこそ紙の魅力だ。そこで今回、子どもたちにはダンボールを使った「ヒミツキチ」づくりに挑戦してもらおう。

6階展示ギャラリー

段ボールを使って、貼って、描いてつくる「ヒミツキチ」。「だんボールの森」や「すべり台」「迷路」で楽しもう。常葉短大保育科の学生によるワークショップも開催。

グランシップ広場

木製遊具や木製汽車ポッポで遊ぼう! フリーマーケットもお楽しみに。

6階交流ホール

ステージではオーディションで選ばれたパフォーマーたちが登場。折り紙などの「むかしあそび」のコーナーも。

3階ロビー

毎年大人気の「ゆめのおきがえコーナー」が今回も登場。親子で遊んだり、ひと息入れたり。駄菓子やおもちゃの販売も。

島田市の「まちづくり島田」が立ち上げた、「愛するあなたへの悪口コンテスト」の作品によって編んだ「愛するあなたへの悪口」が、ついに単行本として発売されてしまった。しまった…と表現したのは、あれよあれよという勢いでこの結果にいたったことに、私自身が啞然としているせいでもあります。

島田の街にかつてあった陣屋内に、陣屋稲荷と呼ばれる稲荷大明神が祀られており、年に一度の縁日には、町民たちも陣屋内に入つての参詣をゆるされていた。その折、稲荷の前に置かれた目安箱のような物の中に、役人の評判を書いて入れるよう御沙汰があった。これは役人の査定の参考にするためだったが、やがて町民たちは、町民の誰それが何したというような評判まで書くようになり、御陣屋稲荷は、「悪口稲荷」と呼ばれはじめた。

とまあ、江戸時代のこんな顛末をきつかけとして、「愛するあなたへの悪口コンテスト」がスタートした。悪口＝文化というコンセプトと、その悪口に

「愛がくるまれているセンスをもとに、全国各地から寄せられた」愛のある悪口を選考し、受賞作を決めるのが、審査員たちの役どころだ。そして、静岡

に縁があり、かつて「カミさんの悪口」なんぞという小説を書いた私が、審査員のひとりに選ばれたのだった。

私は、けっこういろいろな賞の選考委員というやつをやっているが、この「愛するあなたへの悪口コンテスト」ほど、審査当日が楽しい賞はめつたに

ない。それは、おびただしい応募作品から百余点

にしぼられた候補作を読んで、前日あたりまでに絞り込んで出向いたつもりなのに、当日の最終審査の中であれこれ言い合っているうちに、思いもかけぬ作品が急にクロウズアップされるケースが多く、そのサスペンス的顛末がこたえられないためなのだ。しかも、これは審査員全員に共通する感覚である。

それに、受賞作品が何といつても面白い。最優秀賞となるべき作品と、優秀作あるいは入選作のあいだにも、それぞれに役にふさわしいセンスがあるのだ。その第一回から第四回までの受賞作を集めたのが、今回の本の内容なのだから、面白くないはずがない。

今年は第四回目だったが、最優秀作は、「真実を 言わぬ美容師 言う鏡」

愛するあなたへの悪口

だった。美容師の歯の浮くようなお世辞を鵜呑みにしているわが女房どのを打ちながめ、真実を写しつつける鏡への同情までももし出している作品だ…というのが、審査員全員の受け取り方だった。ところが、授賞式当日の受賞者の挨拶で、私たち審査員は息を呑むことになった。

受賞者の奥様は目を悪い、失明に近ところまでその病いがすすんでいる。その奥様と、いずれこんな明るい冗談が言い合える日を夢見て、この作品をつくった…というのが受賞者の言葉だった。

私は、あらためて受賞作品の奥深い愛を痛感し、「愛するあなたへの」を「悪口」の上に冠した、「町づくり島田」のセンスに感服したのだった。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水(現静岡市)で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。



グランシップ「色のむこうがわ展」参加の 熊坂出監督に最優秀新人作品賞!! ベルリン国際映画祭

グランシップでの『珈琲とミルク』から3年半。
宮崎駿監督以来の栄誉。



「パーク アンドラブホテル」より。主演のリリィ（左）と共演のちはる。
©PFFパートナーズ
■4/26(土)～ 東京ユーススペースにてGWロードショー
愛知・名古屋シネマテーク 他全国順次公開

それはグランシップにとっても嬉しいニュースだった。

熊坂出監督の『パーク アンドラブホテル』が、その年のすぐれた長編デビュー作におくられるベルリン国際映画祭最優秀新人作品賞を受賞したのである。ベルリン国際映画祭といえば、宮崎駿監督が『千と千尋の神隠し』が2002年に最高賞の金熊賞を受賞。それ以来の快挙だ。

本作は、新人監督たちの自主製作作品のコンペティションとして知られる「ぴあフィルムフェスティバル(PFF)」のスカラシップ制度によつて製作されたものだが、そのスカラシップ権獲得のもとになったのが、『珈琲とミルク』という短編だった。

た。そして、この短編こそグランシップが開館5周年を記念して開催した「Sing 2004」の企画展「色のむこうがわ展」のために製作された作品だったのである。

短編『珈琲とミルク』は、耳の聞こえない女性に恋をする小学生の物語。今回の受賞作『パーク アンドラブホテル』は、都会のラブホテルの屋上にある公園に集まる孤独な女性たちの交流と再生を描いた作品で、いずれにも「人間」という素材を大事にした視線、独特の色、空気感がある。

受賞後も、テレビ、映画を問わず映像に携わっていきいたいと話す熊坂監督。今後ますますの活躍を期待し、応援したい。

◇ グランシップへ、熊坂出監督からのメッセージ ◇

「色のむこうがわ展」という集団展覧会に出品してみないかと誘いを受けたのがそもその始まりだったと思います。

黒色にまつわることであれば何でも構わないという事だったので、以前から暖めていた自主映画企画「珈琲とミルク」を作つて展示させていただきました。

「珈琲とミルク」は一見、黒色とは無関係に見える作品ですが、黒色を「自分の想像や理解を超えたもの、目に見えないもの」として捉えると、この小作品と「黒色の向こう側」との関連性が目ずと見えてくると思います。また、上映会場も外部からの光

熊坂出／くまさか いづる 1998年立教大学文学部英米文学科卒業。グラフィックデザイナーとしてポケモン関連のコンテンツに携わった後、2002年よりPVやテレビ番組のタイトルバックなど映像制作に助監督として参加。2004年グランシップのアートプロジェクト「Sing2004&色のむこうがわ展」に参加。黒をテーマにした映像作品『珈琲とミルク』を制作。同作は短編作品として2005年の「ぴあフィルムフェスティバル」でクリエイティブ賞・企画賞・審査員特別賞を受賞。後にPFFスカラシップ権を獲得。今回の受賞作『パーク アンドラブホテル』は、このスカラシップによって制作された作品。1975年埼玉県生まれ。



concert
コンサート・音楽イベント



stage
演劇・舞台



exhibition
展示会・展覧会



festival
フェスティバル



talk
講演会

公演情報

2008/4-2008/8

※3月の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



要事前申込

6/14⁺

G

グランシップ 「しずおかの文化」講演会vol.1

- 14:00開演
- 2階映像ホール
- 全席自由 500円

→P10～参照



チケット発売中

6/22⁺

G P Pコード282-475 CN S

グランシップ&静岡クラシックコンサートシリーズ2008 甘美な協奏曲 Vol.1

3大ヴァイオリン協奏曲の一つと謳われるメンデルスゾーン
のヴァイオリン協奏曲は、穏やかな情緒と美しい旋律を
あわせ持つ名曲。そのほか、マスカーニの静かで美しい
間奏曲など、甘く優美な名曲の数々をたっぷり。

【指揮】堤 俊作

【演奏】静岡交響楽団

【曲目】シベリウス／『カレリア』組曲よりマーチ(ヤング・オーケストラ)、グリーグ／『ピアノ協奏曲』作品16、
マスカーニ／歌劇『カヴァレリア・ルスティカーナ』より
間奏曲、メンデルスゾーン／『ヴァイオリン協奏曲』
作品64

【ゲスト】渡邊規久雄(ピアノ)、徳永二男(ヴァイオリン)

■13:30開場 14:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 S席 3,500円(当日 4,000円)、
A席 2,500円(当日 3,000円)、学生 1,000円



渡邊規久雄



徳永二男



参加者募集中!

グランシップ&静岡 ヤングオーケストラ塾 Vol.1



次世代を担う学生たちがプロのオーケストラとレッ
スン。そして、「甘美な協奏曲」本番のステージにて共
演します。

【本番日】6/22(日)

【練習日程】5/11(日)、18(日)、6/8(日)、21(土)

【曲目】シベリウス／『カレリア』組曲よりマーチ

■対象／小学生～大学生

■参加料／各回 7,000円(公演チケット1枚含む)

■申込・問合せ／NPO法人静岡交響楽協会

TEL.054-203-6578 FAX.054-203-6579



入場無料

5/17⁺・18⁺

トレインフェスタ2008

恒例、日本最大級の
鉄道イベントが
今年もグランシップ
にやってくる。多彩
な鉄道模型を中心
に、Nゲージ体験や
ミニ列車乗車会、駅弁コーナー、クイズ大会など、鉄
道ファンはもちろん、親子でたっぷり楽しめる2日間。



■5/17 10:00～17:00(入場～16:30まで)、

5/18 10:00～15:30(入場～15:00まで)

■大ホール・海、中ホール・大地、展示ギャラリー、
交流ホール、グランシップ広場ほか

■入場無料



チケット発売中

5/31⁺

G P Pコード282-466 S

グランシップサロンコンサートvol.1

村治佳織、鈴木大介らを育てた日本を代表する名ギタ
リストと、浜松出身の名ヴァイオリニストの共演。楽し
いトークでも大人気のコンサート。チケットはお早めに。

【出演】福田進一(ギター)、森下幸路(ヴァイオリン)

【予定曲目】M.M.ボンセ／エストレリタ、A.ピアソラ
／『タンゴの歴史』より“カフェ1930”“ナイトクラブ
1960”他

■13:30開場 14:00開演

■6階交流ホール

■全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円



福田進一



森下幸路



チケット発売中

6/8⁺

G P Pコード282-472 L Lコード45959 CN S

スイングジャズクラブ BIG BAND LATIN ～CUBAN FIRE～

2年目となるビッグバンドジャズシリーズ。今回はマンボ
の王様ベレス・ブラードとルンバの王様ザビア・クガード
を聴きくらべ。ラテン音楽の振興に取り組む納見義徳
と、歌うパーカッションist斉藤恵の参加も興味深い!

【ホストバンド】奥田“スインギー”英人&ザ・ブルースカ
イオーケストラ

【ゲスト】どれみ♪(パーカッション)、斎藤 恵(パーカッ
ション)、納見義徳(パーカッション)

■15:30開場 16:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 一般 4,000円 学生 2,000円

おすすめ!発売中

〈2回シリーズ マイシート〉

6/8・11/8の2回チケット7,000円 G S



納見義徳



斎藤 恵



どれみ♪



チケット発売中

4/15⁺

G P Pコード280-284 L Lコード45606 CN S

モントリオール交響楽団



「フランス以上にフランス的なオーケ
ストラ」と呼ばれるほど、豪華な色彩
感としなやかなサウンドが身上のモン
トリオール交響楽団。斬新で独創的
な人気指揮者ケント・ナガノを音楽
監督に迎え、新たな音楽づくりに期
待も急上昇。重厚で深みのあるプログラムも楽しみ。

【プログラム】ベルリオーズ／幻想交響曲Op.14、
ワーグナー／楽劇『トリスタンとイゾルデ』より前奏曲
と愛の死、ラヴェル／ボレロ

■18:30開場 19:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 SS席 15,000円 S席 12,000円
学生席 5,000円



ケント・ナガノ



入場無料

5/3⁺(土・祝)・6⁺(火・休)

グランシップ こどものくに ～さわるう! つくろう! あそぼう!～

■10:00～16:00(入場は15:30まで)

■展示ギャラリー、交流ホールほか

→P20～参照



チケット発売中

5/5⁺(月・祝)

G L Lコード45958 CN S

静岡銀行PRESENTS

オーケストラの奏でる感動を!!

グランシップ「こどもたちへのおくりもの」 ～親子で楽しむ名曲玉手箱～



オーケストラの演奏に初めてふれる子どもたちにクラ
シックの楽しさを。ぜひご家族でどうぞ。

【指揮】堤 俊作 【演奏】静岡交響楽団

【ピアノ】服部玲理・八木佑理子(静岡県学生音楽
コンクール上位入賞者)

【プログラム】サン・サーンス／『動物の謝肉祭』、チャ
イコフスキー／『白鳥の湖』より、ドボルザーク／交響曲
第9番『新世界より』

■13:30開場 14:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 大人1,500円 中学生以下500円



託児をご希望の方は、公演1週間前までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。 国 054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限ります。



5/18(日)チケット発売

8/9[Ⓢ]

G P Pコード385-928 L Lコード46912 CN S

ダンスオペラ「神曲」

不朽の名作を題材に愛知芸術文化センターがおくるダンスと音楽と美術の融合「ダンスオペラ」がグランシップ初登場。H・アール・カオスの大島早紀子がイタリア最大の古典、ダンテの『神曲』をオリジナル舞台化。究極のコラボをお見逃しなく。

【構成・演出・振付】大島早紀子

【出演】白河直子、辻本知彦、群青、佐々木典子 ほか

■17:00開場 17:30開演

■中ホール・大地

■全席指定 S席 7,000円(当日 7,500円)
A席 5,000円(当日 5,500円)



大島早紀子



5/3(祝)チケット発売

8/10[Ⓢ]

G P Pコード289-491 L Lコード46913 CN S

グランシップ「音楽の広場」

■14:00開場 15:00開演

→P4～参照

■大ホール・海

■全席指定 アリーナ席 3,000円 SS席 3,000円
S席 2,500円 A席 2,000円 B席 1,500円
(高校生以下 各1,000円引き) ※4歳未満入場不可



井上道義 © Benjamin Lee 本名徹次 Photo © Ryusei Kojima



入場無料

8/16[Ⓢ]

静岡県学生音楽コンクール 本選会

■時間未定

■中ホール・大地

■入場無料



5/17(土)チケット発売

8/16[Ⓢ]・17[Ⓢ]

G L Lコード46914 S CN K KY

Dance UP! Shizuoka

おとみち2008

～踊らずにはいられない～

■14:00開場

15:00開演

■大地ホール・海

■2days通し券

前売 1,200円

当日1日券 1,000円



入場無料

7/12[Ⓢ]・13[Ⓢ]

公開オーディション開催!

■時間未定

■大ホール・海

■入場無料



4/13(日)チケット発売

7/27[Ⓢ]

G P Pコード384-408 L Lコード45962 CN S

ミュージカル「Freddie ～少年フレディの物語～」

■14:30開場

15:00開演

■中ホール・大地

■全席指定

一般 4,000円

(当日 4,500円)

中学生以下 2,000円

(当日 2,500円)

親子ペア券 5,000円



→P16～参照



6/8(日)チケット発売

7/30[Ⓢ]・8/17[Ⓢ]

G

発明王エジソン展 ～知られざる天才の秘密～



蓄音機、発熱電球、映写機の三大発明をはじめ、1093件もの発明を誇るトーマス・エジソンの生誕160年を祝って、(株)バンダイのエジソンコレクションより厳選した発明品200点を公開。

■10:00～18:00(入場17:30まで)

■展示ギャラリー

■一般 800円(当日 1,000円)

高校・大学生 600円(当日 700円)

小・中学生 400円(当日 500円)



5/20(火)チケット発売

8/3[Ⓢ]

G P Pコード385-885(初日特電0570-02-9533)

L Lコード46928

あさひテレビ&グランシップ

夏休みスペシャル

Yes! プリキュア5 GoGo!

ミュージカルショー



©ABC・東映アニメーション

■1日2回公演

午前の部/10:00開場 11:00開演

午後の部/13:30開場 14:30開演

■大ホール・海

■全席指定 3,000円

※2歳未満膝上鑑賞無料、保護者1名につき1名まで



チケット発売中

6/27[Ⓢ]

G P Pコード282-477 L Lコード45960 CN S

イタリア・スポレート歌劇場

オペラ「シンデレラ」(チェネントラ)



新人オペラ歌手の登竜門として世界有数の名声と権威を誇るイタリア・スポレート歌劇場がグランシップに登場。プログラムはロッシーニが手がけた名作『シンデレラ』。誰もが知っている灰かぶり娘と王子の恋物語が軽妙洒落な喜劇に! お楽しみを。

■18:00開場 18:30開演

■中ホール・大地

■全席指定 SS席 13,000円 S席 10,000円

学生席 5,000円

(全2幕 原語上演 日本語字幕付)

チケット購入の方のみ

オペラ事前レクチャーに (無料で)参加できます!

■日時/6月7日(土) 13:30～15:30

■講師/加藤浩子氏(音楽評論家)

■お問い合わせ・申し込みは

企画制作課 054-203-5714まで



4/13(日)チケット発売

7/11[Ⓢ]

G P Pコード282-478 L Lコード45961 CN S

ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団

ブラス・クインテット



©Ronald Knap

「王立」の称号を冠し、オランダが誇る世界屈指のオーケストラより、首席奏者が初めての金管五重奏を結成。注目の静岡公演をお見逃しなく。

【プログラム】シャイト/組曲、ベートーヴェン/ピアノソナタ第8番Op.13『悲愴』(金管五重奏版)、ホルヴィッツ/ミュージック・ホール組曲、グリーンカ/歌劇『ルスランとリュドミラ』序曲(金管五重奏版)、クレスポ/『アメリカ組曲』

■18:30開場 19:00開演

■中ホール・大地

■全席指定 一般 4,500円 学生 2,000円

JUST FINISHED!



池辺晋一郎さん 10.Feb.2008

中ホール・大地での「音楽の不思議～メロディのからくり」上演後のスナップ。

読者 Presents

CD、公演チケットほかプレゼント。



5/31のサロンコンサート「福田進一・森下幸路」より、福田進一プロデュースCD第3弾「ブエノス・アイレス組曲」を1名に、また、7/27開催の島田歌穂主演のミュージカル「Freddie～少年フレディの物語」より公演チケットをペアで1組にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記あて郵送を。(平成20年5月末日消印有効)なお、当選者は商品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

〒422-8005 静岡県駿河区池田79番地の4 グランシップG係 TEL054-203-5714

MEMBERS

「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでもいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(初年度年会費は入会月に異なります。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引◆チケット先行予約◆電話での予約受付◆公演情報誌送付◆提携店割引◆法人会員特典(情報誌上に社名掲載)

(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局

〒422-8005 静岡県駿河区池田79番地の4 グランシップ3階

TEL.054 (203) 5714 FAX.054 (203) 5716

〈友の会法人会員〉

■法人特別会員/静岡ガス(株)、鈴木(株)、静岡新聞社、静岡放送(株)

■法人一般会員/株タミヤ、コクヨマーケティング(株)、株NTTドコモ東海、劇団ひまわり

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡県駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

世界は劇場にあり!

Shizuoka 春の芸術祭 2008

Spring Arts Festival Shizuoka 5/10sat▶6/29sun

チケット前売り開始-4月7日(月)

静岡芸術劇場チケットセンター

Tel.054-202-3399

<http://www.spac.or.jp>

演劇 **エレクトラ** (ロシア/日本)

演出:鈴木忠志 原作:ホフマンスタール

音楽:高田みどり 出演:タガナ劇場、SPAC

5月10日(土)11日(日)14:00開演 静岡芸術劇場

南インド古典舞踊劇

クリシュナ九変化/半人半獅子ヴィシュヌ神 (インド)

演出:ゴパール・ヴェス 出演:カピラ・ヴェス、ナタナカライ

6月7日(土)8日(日)16:30開演 屋内ホール「楯円堂」



演劇 **かもめ...プレイ** (ブラジル)

演出:エンリケ・ディアス 原作:チェコフ 出演:エンリケ・ディアス他

6月7日(土)8日(日)19:30開演 野外劇場「有度」



演劇 **消された官僚を探して** (レバノン)

作・演出:出演:ラビ・ムルエ

5月14日(水)19:00開演 静岡芸術劇場



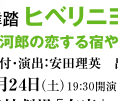
舞踏 **ヒベリニョ**

〜河郎の恋する宿や夏の月〜 (日本)

振付・演出:安田理英 出演:ささきまうさ

5月24日(土)19:30開演

野外劇場「有度」



SPAC新作

演劇 **夜叉ヶ池** (日本)

演出:宮城聡 作:泉鏡花 出演:SPAC

5月24日(土)25日(日)15:30開演

静岡芸術劇場



演劇 **エリザベス2世**

(オーストリア)

出演:ケルト・フォス

原作:トーマス・ペルンハルト

5月31日(土)15:30開演

静岡芸術劇場



ファミリー劇場

演劇 **ハルツの物語** (韓国)

作・演出:ベ・ヨソプ 出演:劇団ティグ

5月31日(土)6月1日(日)11:30開演

楯古場棟「BOXシアター」

2,000円/親子券2,500円(中学生以下1名と保護者1名)



演劇

アンティコネ (イスラエル)

演出:ハナン・スニル 作:ソフォクレス

出演:ハビマ国立劇場・カメリ劇場

6月14日(土)15日(日)15:30開演 静岡芸術劇場

演劇 **剣を鍛える話**

〜魯迅「故事新編」より〜 (日本)

演出:中島諒人 作:魯迅 出演:鳥の劇場

6月14日(土)19:30開演

野外劇場「有度」



ダンス **遊べ! はじめ人間** (カメルーン/フランス)

振付:メルラン・ニヤカム 出演:ラ・カルバス・カンパニー

6月20日(金)16:30開演、21日(土)22日(日)14:30開演

静岡芸術劇場

4,000円/同伴(2枚)7,000円

親子券4,500円(小学生以下1名と保護者1名)

静岡県内の中学生は30名まで招待。(詳細は下記)



ダンス **Nameless Hands**

〜人形の家 (日本)

演出・振付:金森穂 振付・出演:Noism08

6月20日(金)19:00開演、21日(土)22日(日)17:30開演

楯古場棟「BOXシアター」



オデオン座芸術総監督オリヴィエ・ビエ特集(フランス)

演劇 **イリュージョン・コミック**

〜舞台は夢

作・演出:オリヴィエ・ビエ 出演:パリ・オデオン座

6月28日(土)29日(日)14:30開演 静岡芸術劇場

演劇 **若き俳優への手紙**

作・演出:オリヴィエ・ビエ 出演:パリ・オデオン座

6月28日(土)29日(日)19:30開演

野外劇場「有度」



チケット料金

4,000円 同伴チケット(2枚)7,000円

大学生・専門学校生2,000円 高校生以下1,000円

静岡県内の中学生は、静岡芸術劇場の各公演30名まで招待。

(お問い合わせ・お申し込みは静岡県庁文化政策室 Tel.054-221-2857まで)

その他お得な週末ハシゴ券、静岡県立美術館「シャガール展」などのセット券もあります。

SPAC SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

TOPIC-1

園児たちの力作を一堂に。
恒例!「クリスマスの絵」展示

グランシップの3階ロビーでは、12/11～25、市内5施設の幼稚園・保育園の園児たちによる「クリスマスの絵」を展示。夢いっぱいの力作にクリスマス気分が広がった。

TOPIC-2

晴天に恵まれた新春吉日、
「成人のつどい」開催。

晴天に恵まれた新年1/3、グランシップでは静岡市と静岡市成人の会主催による「成人のつどい」が開かれた。中ホール・大地では厳かな式典を開催。大ホール・海は盛大なアトラクションで賑わい、また、グランシップ広場では旧友との記念撮影に興じる新成人たちの姿があった。

TOPIC-3

大学生活の思いを
その筆にこめて「卒業書展」。

卒業を間近に控え、大学生活の集大成となる卒業制作展「平成19年度静岡大学教育学部書文化専攻卒業書展」が1/26～28、展示ギャラリーにて開催された。それぞれ自慢の書を掛け軸や巻物などに仕上げ、見応え十分。来場者は作品一つ一つを丁寧に鑑賞していた。

TOPIC-4

個性豊かなデザイン世界へ。
今年も「卒業制作展」。

展示ギャラリーや交流ホールを使った静岡デザイン専門学校による卒業制作展「デザイン ア・ラ・モード」(2/1～3)が今年も開催。例年同様、個性豊かな作品、ショップが所狭しと並び、最終日にはファッション、メイク専攻の学生たちが中ホール・大地にて本格的なショーを催し、悪天候の中、立ち見が出るほどの盛況を博した。

TOPIC-5

音楽、ピアノ、おしゃべり。
池辺ワールドを堪能。

音楽と楽しいトークのひとつとき、静鉄グループ PRESENTS グランシップコンサート『音楽の不思議～メロディのからくり～』が2/10中ホール・大地にて開催。抽選で選ばれた幸運な約800人の観客は、池辺晋一郎氏のピアノと楽しいトークとともに、ビゼーの『カルメン』など名曲の数々をたっぷり楽しんだ。

TOPIC-6

4月デビューに向けて、
新規サポーター始動。

グランシップの心強い味方のサポーター。このほど、第11期にあたる20年度の新規サポーターが決定。総勢68名のうち、イベント業務担当の19人が去る2/23、中ホール・大地でのレセプション研修に参加。講師の星乃もと子氏の指導で、ホール業務について学んだ。

TOPIC-7

静岡県現代舞踊協会に
地域文化活動賞。

静岡県文化財団では、毎年、県内各地で優れた文化活動を行っている文化団体を表彰。今年はニューわかふじ国体オープニングセレモニーや浜名湖花博にも参加の「静岡県現代舞踊協会」が地域文化活動賞を受賞。2/3には会議ホール・風にて表彰式・発表会も行われた。受賞団体は以下の通り。

〈地域文化活動賞〉静岡県現代舞踊協会(磐田市)
〈地域文化活動特別奨励賞〉浜松合唱団(浜松市)
〈地域文化活動奨励賞〉(順不同)しじみの会(浜松市)／西奈図書館友の会「けやき」(静岡市)／創作和紙人形 華扇会(浜松市)／NPO法人フィルム微助人(沼津市)〈地域文化活動努力賞〉葛山城址保存会(裾野市)／徳谷神社神楽会(川根本町)〈地域文化活動特別賞〉榛原高校郷土史研究部(牧之原市)／NPO戸田塩の会(沼津市)

TOPIC-8

駐車場移転のお知らせ



1/19をもってグランシップ駐車場が当館東側に移転。従来よりも駐車スペースが減少し、催事によっては入庫まで時間がかかることが予想されるため、グランシップへお越しの際には、できる限り公共交通機関のご利用を。

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

2008年最初のディスプレイは、静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科1年生による作品。黒いドアの向こうに広がる色鮮やかな世界を表現。4月中旬まで展示予定



タイトル／『color～あんな色・こんな色』
制作／静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科1年



「じゃあ、グランシップの練習室って、 一人あたりはコーヒー代でOKってこと?」



- ねえ、ダンスやってるんだって?
- ウン。友達とね、ほぼ毎週。
- でも、どこで? 音量とかの問題でなかなか場所がないって聞いたけど。
- まあね。だから、私はいつもグランシップ。あそこの練習室を借りること、多いかも。
- へーえ。施設的には◎だけど、そのぶん、お値段も高そう。
- と思うでしょ? ところがいつも私たちが使う練習室3は夜間で1400円。
- じゃあ、三人で使えば一人あたりはコーヒー代ぐらい?



練習室1



練習室3



可動式姿見

鏡素材貼りと照明付の2タイプあり。移動が簡単なキャスター付き。有料。

■練習室/音楽、演劇等の練習に最適な大小4つの練習室はフローリング床。パレエシートの有料貸出もあり(練習室4は除く)。

施設・設備の概要	室名	面積(m ²)	設備	天井高
	リハーサル室	263	フローリング床、鏡(W7.6m×H2.5m)、パレエパー、コンサートピアノ*	3.9m
	練習室1	100	フローリング床、鏡(W7.4m×H2.6m)、パレエパー、アップライトピアノ*	
	練習室2	86	フローリング床、鏡(W9.1m×H2.4m)、セミコンサートピアノ*	
	練習室3	37	フローリング床、アップライトピアノ*	3.6m
	練習室4	28	フローリング床	

*ピアノは有料

施設利用料金表

名 称			使用料（単位:円）					
			午前 (9時～12時まで)	午後 (13時～17時まで)	夜間 (17時30分～22時まで)	午前～午後 (9時～17時まで)	午後～夜間 (13時～22時まで)	全日 (9時～22時まで)
中ホール・大地	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	25,000	38,000	57,000	63,000	95,000	110,000
		土日休日	30,000	46,000	68,000	76,000	114,000	132,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	34,000	51,000	76,000	85,000	127,000	146,000
		土日休日	41,000	61,000	91,000	102,000	152,000	176,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	42,000	63,000	95,000	105,000	158,000	182,000
		土日休日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
	入場料 5,001円以上	平 日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
		土日休日	63,000	95,000	143,000	158,000	238,000	275,000
リハーサル室			4,600	6,200	6,900	10,800	13,100	17,700
練習室1・2			1,800	2,300	2,600	4,100	4,900	6,700
練習室3・4			900	1,300	1,400	2,200	2,700	3,600

1. 商業宣伝、営業等を目的として使用する場合は、中ホールについては、「入場料3,001円~5,000円以下」の区分を適用し、その他については、当該区分の額に100分の200を乗じた額とします。
2. 練習、準備または撤去のために使用する場合は、中ホールについては、「入場料なし」の区分の額に100分の50を乗じた額とします。

「しかもキレイなんだもん！ ダンスがますます 楽しくなっちゃうってわけ」

- 午前中なら9000円から借りられるらしいよ。
- それ、知らなかった。
- でしょ？ 練習室は全部で5タイプあるんだけど、広いほうなら壁面に鏡があるし、小さな部屋でもオプションで可動式姿見のレンタルもOK。安いし、キレイだし、ダントツおすすめってカンジ。
- 別団体と合同練習することもあるわけ？
- あるある。そういうときはリハーサル室ね。備品もいろいろ揃ってて便利なんだよね。
- なるほどね。今度、見に行つていい？
- モチロン！ 秋には中ホールで発表会があるから、いつそのこと、それに向けて一緒にどう？
- ホント？ 始めちゃおつかな。
- 決まり！ ただし、練習はキビシイから覚悟してよ。



中ホール・大地

■中ホール／客席879席（最大1209席）、オーケストラピット完備、ステージ面積は最大404m²。楽屋（有料）9室あり。



リハーサル室

■リハーサル室／中ホールの主舞台とほぼ同サイズの間口をもち、本番同様のリハーサル、稽古が可能。

お知らせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。
施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中は行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
（図書館コーナー、情報ラウンジ、チケットぴあ、カフェ、レストランもお休みです。）

平成20年 4月21日（月）～22日（火）
5月19日（月）～21日（水）
6月23日（月）～26日（木）
7月14日（月）～17日（木）
8月25日（月）～28日（木）
9月 8日（月）～ 9日（火）
10月20日（月）～22日（水）
11月10日（月）～12日（水）
12月 8日（月）～11日（木）

ご利用についてのご案内

【申込受付】
午前9時～午後8時 ※開館時間／午前9時～午後10時
【申込方法】
電話、FAXまたは当財団窓口に。受付は先着順ですが、同時申込の場合や受付開始初日の午前9時～10時に申込が重複した場合は抽選となります。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054 (203) 5713 FAX 054 (203) 6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

【申込受付時期&連続使用可能日数】

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日の2年前の月の初日	14日
会議ホール、交流ホール、映像ホール	利用開始日の1年前の月の初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日の1年前の月の初日	14日
会議室、リハーサル室、練習室、グランシップ広場	利用開始日の半年前の月の初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

サポーター10年の歩み

第1期サポーター 平常業務担当 鈴木 田鶴子

平成9年11月、サポーターに応募。運よく採用が決まり、翌年1月より活動がスタートしました。2月には、まだ完成していない現場事務所で研修が始まり、そのとき、故山本館長から次の五箇条を言い渡されました。

- 一 仕事を楽しくしてください
- 二 明るく、親切に
- 三 仲よく

四 注文、希望はどしどし言うてください
五 地域に持ち帰って活躍してください

これはサポーターの心得の基本だと、10年たった今でも思います。グランシップは10年前、赤ジャンメンバーとともに船出しました。見学ガイドブックを暗記し、大きな声で説明したあの頃。受付、場内係でお世話した折々に「ありがとう」のひと言をいただくこともありました。そんな声に癒され、励まされ、私たちは頑張れたのだと思います。

任期わずかとなった今年2月、伊豆の小学生を案内する機会があり、久しぶりの赤ジャンパーに袖を通しました。「グランシップは初めて」とはしゃぐ子どもたちを見て、もっと多くのみなさんが気軽に来館できる体制が必要だと考えさせられました。

グランシップ

プー未来への出航は、永遠のテーマだと思えます。



Report 041

READER'S VIEW

●いつも楽しみにしています。
今回は先日行なわれた『連詩の会』大男さんのユニークさに笑ってしまいました。短い言葉の宝石ですね。

《静岡市・ビーゴ》

●木村伊兵衛展に中学からの親友を誘って出掛けました。時代背景どころか人々の心がしっくり伝わってくる思いで、こんなにゆっくり写真展を見させていただく機会がとても嬉しく、あたたかな「昭和」が心に残りました。《焼津市・トシナテさん》

●車イスの母を連れ、まだ小さかった子どもたちと行った時のこと。(中略)グランシップに着くとすぐ、係の方がかけ寄ってきて親切に声をかけてくださり、手伝ってくださいました。あの時の対応は今でもよく覚えています。《三島市・辺田恵美子さん》

●グランシップ名人会Vol.1「立川談志独演会」に行ってきました。味わいがあって楽しい時間でした。Vol.2小三治も期待しています。《静岡市・小澤俊卓さん》

●Vol.36「話芸は和芸」にひかれて読みました。私は朗読(ひとり語り)をしておりますし、仕事も司会業で舞台に立つことがあつて「話芸」にはとても興味がありません。また、県の詩人会の理事の末席にあり、野村喜和夫氏の連詩の記事も楽しく読ませていただきました。

《浜松市・堤腰和余さん》

★グランシップおよび本誌「G」に関するご意見、ご感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

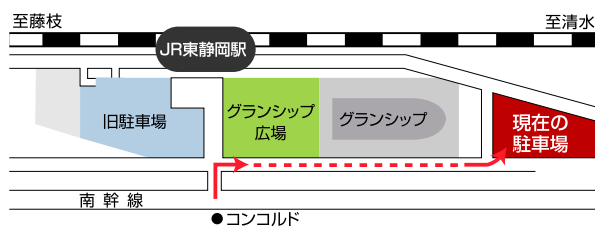
Editor's room.....

海外では「子どもの頃劇場での感動の経験がないと、その人は大人になっても劇場へ足を運ばなくなる。」と言われ、芸術家も教育者も関係者も、出来るだけ小さな内に良質の舞台に触れさせるための努力を惜しまないそうです。各国で開かれる「国際フェスティバル」は、参加各国の舞台芸術に携わる者が切磋琢磨する場になっているのです。子どもにどんな舞台芸術を提供できるのかは、公共の文化施設が最も真剣に取り組むべき課題ではないでしょうか。そんな意味でグランシップも、新年度から積極的な事業展開を図って行きたいと思っています。4月のモントリオール交響楽団のプログラムは誰もが楽しめる公演です。5月のサロンコンサートにご出演の福田進一さんには、公演にあわせて県内の高校でギタークラブのための演奏と指導を、7月のロイヤル・コンサートへボウ管プラス・クインテットには福祉施設での演奏会もお願いしています。大型連休中の「グランシップこどものくに」、夏休み期間中のミュージカル「フレディ」、「発明王エジソン展」、「グランシップ音楽の広場」は、是非親子で楽しんでもらいたい必見の公演です。今年もヴァイオリニスト・マイクさんのワークショップもありますよ！

グランシップ館長 田村 孝子

埋蔵文化財発掘調査に伴い、 グランシップ駐車場が移転しました。

埋蔵文化財調査に伴い、平成20年1月上旬から東静岡駅前前の駐車場が、グランシップ東側に移転しました。移転後は駐車可能台数が減少し、混雑が生じています。グランシップにお越しの際は、混雑緩和のため、**公共交通機関をご利用ください。**



●ACCESS/東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。